

平成 16 年 8 月 13 日



**Nexyz.**

ニッポン・ニュー・マーケット  
ヘラクレス

会社名 株式会社 ネクシィーズ  
コード番号 4346  
代表者役職名 代表取締役社長 近藤 太香巳  
本店所在地 東京都渋谷区桜丘町 20 番 1 号  
問合せ先 専務取締役 管理本部長 松井 康弘  
TEL 03-5459-7444  
URL <http://www.nexyz.co.jp>

## 平成 16 年 9 月期第 3 四半期の連結業績等の概況

### 1 業績

( 1 ) 平成 16 年 9 月期第 3 四半期 ( 平成 15 年 10 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日 ) の業績

#### 連結業績

	平成 16 年 9 月期 第 3 四半期累計	対前年同 期増減率	平成 15 年 9 月期 第 3 四半期累計	参 考 前期 ( 通期 )
売 上 高	百万円 13,241	% 87.0	百万円 7,082	百万円 11,399
営 業 利 益	721	64.1	439	646
経 常 利 益	605	55.4	389	546

( 注 ) 1. 当第 3 四半期の財務数値については、監査法人のレビューを受けておりません。

2. 記載金額は、百万未満を切り捨てて記載しております。

#### 単体業績

	平成 16 年 9 月期 第 3 四半期累計	対前年同 期増減率	平成 15 年 9 月期 第 3 四半期累計	参 考 前期 ( 通期 )
売 上 高	百万円 12,579	% 90.5	百万円 6,603	百万円 10,942
営 業 利 益	558	29.9	429	596
経 常 利 益	504	13.6	443	584

( 注 ) 1. 当第 3 四半期の財務数値については、監査法人のレビューを受けておりません。

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて記載しております。

## (2) 事業別の売上高内訳

	平成 16 年 9 月期 第 3 四半期累計		対前年同 期増減率	平成 15 年 9 月期 第 3 四半期累計		参 考 前期 (通期)	
	金 額	構成比		金 額	構成比	金額	構成比
テレマーケティング事業	百万円 11,409	% 86.2	% 107.3	百万円 5,504	% 77.7	百万円 7,575	% 66.5
その他マーケティング事業	283	2.1	55.8	642	9.1	926	8.1
プロモーション事業	671	5.1	7.0	627	8.9	2,212	19.4
継続収入	876	6.6	184.5	308	4.3	684	6.0
計	13,241	100.0	87.0	7,082	100.0	11,399	100.0

(注) 1. 事業区分については、従来「情報通信サービス関連事業」「マーケティング事業」「その他事業」の 3 区分によっておりましたが、前中間連結会計年度末より、「テレマーケティング事業」「その他マーケティング事業」「プロモーション事業」「継続収入」の 4 区分に変更しております。

この変更は、テレマーケティング事業を専門とする連結子会社の設立及び継続収入の増加に伴い、マーケティング事業とプロモーション事業を中核とするネクシィーズグループの実態をより適正に反映するために行ったものであります。

2. 当第 3 四半期の財務数値については、監査法人のレビューを受けておりません。
3. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて記載しております。

## (3) 主な資産・負債の変動について

項 目	平成 16 年 9 月期 第 3 四半期	増減額	平成 15 年 9 月期 第 3 四半期
( 資 産 )	百万円	百万円	百万円
現金及び預金	5,373	3,791	1,581
売掛金	7,704	4,697	3,007
繰延税金資産 (流動)	1,198	1,182	16
レンタル資産	1,535	425	1,960
( 負 債 )			
買掛金	788	543	245
短期借入金	1,300	248	1,051
一年以内返済予定の長期借入金	1,867	1,188	678
未払法人税等	1,428	1,362	66
解約調整引当金	2,656	2,645	11
社債	500	450	950
長期借入金	2,995	2,083	912

(注) 1. 項目ごとの増減額が総資産の 1% を超えるものについて、記載しております。

2. 当第 3 四半期の財務数値については、監査法人のレビューを受けておりません。
3. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて記載しております。

## 2 業績の概況

当期における我が国の経済状況は、株式市場の上昇基調、設備投資の増加、企業の業績改善等、緩やかな景気回復への兆しが見えはじめました。

通信業界、特にインターネット市場につきましては、ナローバンドからブロードバンドへインターネットの主流が急速に移行しております。総務省発表資料によるとブロードバンド利用者数は平成16年6月末16,188千件(注)に達し、なかでも既存の電話回線を利用するDSL接続利用者数は、平成16年6月末現在12,068千件(注)と、ブロードバンド利用者全体に占める割合は74.6%を占め、ナローバンドからブロードバンド接続への移行において牽引役を果たしており、今後も更にDSL加入者数は拡大推移していく予測が発表されています。

このような環境の下、当社グループはテレマーケティング事業を中心として、今期も前期に引き続きブロードバンド総合サービス「Yahoo! BB」加入取次ぎサービスに注力し、加入契約取次ぎ数の増加に伴う売上増、加入契約獲得者の累積に伴う継続収入の拡大に努めてまいりました。

広告業界につきましては、全体として不況の影響で、企業が負担する広告費の出費は抑制傾向にあります。一方、当社グループが展開する広告等のマーケティング事業及びプロモーション事業は「懸賞キャンペーン応募用紙広告」や「eCRM」に代表されるように、膨大な費用のかかるマスメディア広告と比較し、より低価格且より効果的に顧客意識を抽出することができる点に特徴があるため、販売に直結する効果的な費用投下が要求される現環境下においても、受注は順調に推移しております。

このような営業活動により当第3四半期連結会計年度の業績は連結売上高13,241百万円(前年同期比87.0%増)、連結営業利益721百万円(前年同期比64.1%増)、連結経常利益605百万円(前年同期比55.4%増)となっております。

(注) 平成16年版情報通信白書(総務省編)・総務省DSL普及データ(月次)から引用しました。

### 3 当期の見通し

#### (1) 連結通期業績予想の修正

平成 16 年 9 月期 (平成 15 年 10 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

単位百万円

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	14,000	800	400
今回修正予想 (B)	17,000	1,000	450
増減額 (B - A)	3,000	200	50
増減率	21.4%	25.0%	12.5%
前期実績	11,399	546	157

#### (2) 単体業績予想の修正

平成 16 年 9 月期 (平成 15 年 10 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日)

単位百万円

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	13,000	700	350
今回修正予想 (B)	16,000	800	350
増減額 (B - A)	3,000	100	-
増減率	23.1%	14.3%	-
前期実績	10,942	584	223

#### (3) 1株当たり年間配当金

1株当たり年間配当金		
中間	期末	
円 銭	円 銭	円 銭
	500 00	500 00

#### (4) 修正の理由

当第 3 四半期の実績と第 4 四半期 (平成 16 年 7 月 1 日 ~ 平成 16 年 9 月 30 日) の見通しをもとにした通期業績予想が、前回発表予想を上回る見込みとなったために、平成 16 年 9 月期通期業績予想を上方修正するものであります。当社が行うテレマーケティング事業が好調に推移し、当初業績予想を上回る見込となりました。

なお、期末配当金につきまして変更はございません。

### 4 その他

#### 財務諸表の添付について

平成 14 年 7 月に公表された「四半期財務諸表の開示に関するアクション・プログラム」に基づく「上場会社の四半期開示の充実に関する諸施策」を受け、当社は一層の社内管理体制の強化に努め、来期以降に財務諸表を添付して開示いたします。

上記予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。